

R5 年度 災害時要配慮者の避難訓練実施計画（案）

R5. 7. 27

災害想定

- ・午前 10:00 に「震度 6 弱」の地震が発生する。
- ・ガラス戸のガラスが飛散し開閉不可、玄関戸を開け避難路を確保する。

ポイント

- ・震度 5 以上の場合、ご近所の避難協力者は当事者宅へ声をかける。
- ・避難協力者は避難ガイドを確認しながら避難協力をする。

主体の移行

- ・行政主導から住民主体の避難訓練への移行を図る。

- 1 目的 近隣住民の協力を得て、安全に一時避難所へ避難できる。
- 2 対象者 ALS 患者（寝たきり、人工呼吸器装着、車椅子移動）
- 3 参加者 ○近隣住民 →避難誘導の訓練（4 家族に依頼予定）
○支援者 →避難訓練の協力体制づくり、連絡調整、指導助言等
地区自治会長、地区防災担当、地区班長、消防団、高松市健康
づくり推進課、勝賀保健ステーション、高松市社会福祉協議会、
地区民生委員、当事者利用事業所、一時避難所担当
- 4 日時 令和 5 年 10 月 15 日（日）10:00～11:00 頃
※雨天順延：10 月 22 日（日）10:00～11:00 頃
- 5 内容 ① 掲示した避難手順等を参考に一時避難所へ避難
② まとめ（感想、必要に応じて車椅子の操作練習等）
- 6 方法 ・9 月 3 日（日）～ 避難ガイドを室内に掲示し、近所の避難協力者に開放
・避難協力者だけで避難誘導し、支援者は必要に応じて助言・補助
- 7 避難所 ケアサービスかがわ（グループホームきらら）
高松市香西南町 37-2 TEL087-832-8335（直通 050-8892-3144）
- 8 配布物 ① 避難訓練当日の流れ
② 昨年度の避難誘導のアンケート結果（高松市健康づくり推進課）
- 9 主催 日本 ALS 協会香川県支部
共催 高松市健康づくり推進課
- 10 その他 ・ロングスロープを準備
・避難訓練の記録（写真等）
・日本 ALS 協会香川県支部だより、ホームページへの掲載
・当日の駐車場（近所のショッピングセンター駐車場を利用）

以上